

4年間の学びのステップ LEARNING STEPS OF 4 YEARS

▶ カリキュラム ▲は法務コース登録学生のみ履修可

1年次	2年次		3年次		4年次	
基礎	応用		発展			
法学の社会的役割を認識し、専門的知識と法的思考基礎力を体得する。 導入科目を通じて、法学全体の基礎およびその根幹をなす現代社会の実情を把握・認識します。また、法律学・政治学の基本科目を通じて、法学の中核となる専門的知識を理解して、法律学を学ぶ上で必須となる基礎力を身に付けます。	所属コースに応じた専門科目を修得し、専門学知の基盤を形成する。 法律学の基本となる専門知識を修得し、それをを用いた法的思考力・法解釈力を身に付けます。所属コースに応じた多様な応用科目を学ぶことにより、専門性を深め、各法分野の特性を理解して専門学知の基盤を形成します。		将来の進路を見据えて専門性を醸成し、実践的課題解決を探究する。 所属コースに応じた発展科目を幅広く学修し、法分野の横断性を意識して、批判的思考力と課題解決力を養います。国際関係法学の発展科目も学ぶことにより、国際的視点や比較法的観点から国内法を批判的かつ発展的に分析します。			
導入科目						
法律学習の基礎 基礎演習 法学概論						
基本法律科目						
憲法I 憲法II 行政法総論 行政救済法	刑法I(総論) 刑法II(各論) 刑事手続法(刑事訴訟法) 刑事政策	民法(総則) 民法(物権) 民法(債権総論) 民法(契約法)	民法(親族・相続) 民法(不法行為等) 会社法I(企業組織法) 会社法II(企業金融法)	民事手続法I(判決手続) 法哲学I 法哲学II 法制史I	法制史II 法社会学I 法社会学II 政治学原論I	政治学原論II 行政学 地方自治論 国際法
発展法律科目						
雇用関係法I 雇用関係法II 労使関係法 経済法	企業取引法I(商法総則) 企業取引法II(商取引法) 企業取引法III(保険法・海商法) 金融法I(企業決済法)	金融法II(金融商品取引法) 民事手続法II(民事執行・保全法) 民事手続法III(倒産処理法) 知的財産法(概論)	知的財産法(応用) 国際ビジネスの法と交渉 国際私法I(総論・家族法) 国際私法II(財産法)	国際民事手続法 社会保障法 地方自治と法 租税法	租税手続法 少年法 特別刑法	
国際関係法・政治学科目						
国際人権法 国際環境法 海洋法 外国法政I～IV	国際組織法 国際経済法 国際紛争解決法 宇宙法	国際知的財産法 国際商事仲裁 EU法 International Law	Advanced International Law 国際関係史 国際政治学 政治理論	政治史I 政治史II 日本政治論 比較政治学	地域研究I～III 社会科学総合講座 現代政治思想 政治思想史	国際協力論 国際開発論
演習・実務関連科目						
専門演習I～III 特別専門演習 英書講読I～II 専門外国語IA～IB	専門外国語IIA～IIB 専門外国語IIIA～IIIB 応用法律学(憲法) 応用法律学(行政法)	表現技法の基礎 Problem Solving Skills for Global Issues I～II 行政実務から見た法学 ビジネス実務から見た法学	インターナショナル・サービス・ラーニング ▲応用法律学(刑法) ▲応用法律学(刑事訴訟法) ▲応用法律学(民法)	▲応用法律学(商法) ▲応用法律学(民事訴訟法)		

※上記カリキュラムは2023年度入学者より適用予定。

教員紹介

有田 謙司 教授	労働法(特に、労働契約、雇用保障法)
石森 久広 教授	行政法
梅崎 進哉 教授	特別刑法、因果論的犯罪論
奥 博司 教授	司法制度と社会の関係に関する基礎的考察および民事手続法の解釈論
齊藤 芳浩 教授	憲法(特に、憲法の法源論、憲法解釈論)
勢一 智子 教授	行政法、環境法/環境分野における学際的研究、地方自治法
田中 英司 教授	民法(財産法)、特に、不動産利用権、不動産所有権に関する法的問題
奈須 祐治 教授	憲法、特に表現の自由論
濱崎 録 教授	民事手続法
原 謙一 教授	民法(財産法、特に無体の財の活用及び位置づけについて)
平井 佐和子 教授	刑法、刑事政策(特に女性・子どもをめぐる刑事法的対応について)
福永 俊輔 教授	刑法、刑事訴訟法(共犯論、共謀共同正犯をめぐる手続上の問題)

藤林 大地 教授	商法(会社法、金融商品取引法)
宮崎 幹朗 教授	民法(家族法)
毛利 康俊 教授	法哲学(特に社会システム論に基づいた議論)
横田 守弘 教授	憲法
田中 慎一 准教授	商法(会社法、特に取締役の責任)
中野 万葉子 准教授	法制史(近世ヨーロッパの私法概論、自然法論)
前田 敦 准教授	民法(財産法、特に契約法)
山田 恵子 准教授	法社会学
山田 憲一 准教授	知的財産法
横尾 亘 准教授	商法(商法、特に株式会社の役員についての研究)
佐藤 友幸 講師	刑事訴訟法(特に、刑事証拠法)

▶ 学科 PICK UP (ゼミの学び)

中野 万葉子 准教授

ゼミテーマ 西洋法制史

法学には、身の回りの法の解釈・適用を扱う、いわゆる実定法学とは別に、それらの出発点となる「法とは何か」について考える基礎法学という学問領域があります。西洋法制史は、わが国の法の近代化に際して模範となったヨーロッパの法の歴史を素材として、「法とは何か」を考える基礎法学の一分野です。演習では、興味のあるテーマについて報告を行い、その報告を受けて全員で議論します。



「ZOOM IN カリキュラム」

行政実務から見た法学／ビジネス実務から見た法学

公共法政策コースおよびビジネス法コースの各コース所属の学生を対象として、実務の視点から法学を探究する実践的科目です。法理論とその応用現場である法実務の両面から学びを深めることにより、理論と実務の架橋を目指します。現実社会において法学が担う役割を思考する素地を培い、課題解決力を養成します。

応用法律学

法科大学院や大学院への進学、法書・法律系公務員を目指す法務コース所属の学生を対象に、司法試験の必須科目・基本七法について少人数で開講される応用科目です。法律が適用される具体的場面で求められる法的思考の深化を目指します。最新の立法・判例・学説を踏まえた論述力を養い、実践的な法学を身に付けます。

主なゼミテーマ

- 税法・財政法とプレゼンテーション
- 具体的事件から行政法を理解する
- 憲法解釈の諸問題
- これからの日本の法政策を法哲学的に考える
- 刑事法学の総合的検討
- 司法制度を「文献」「データ」「観察」から法社会学的に学ぶ
- 現代労働法の諸問題

STUDENT'S VOICE

大学で培った経験や知識を糧に 法曹への道を突き進む。

法曹をめざす私にとって、五年一貫型教育(法務コース)を選択できることに魅力を感じて本学科に入学。世界での活躍も視野に入れて、現在は国際私法のゼミに所属しています。他大学と競い合う「大学対抗交渉コンペティション」などは多角的な見方が養われる良い学びの機会に。また、授業の一貫で裁判を傍聴することもあります。弁護士、検察官それぞれの主張の意図や道筋などを読み取ることができ、学びが実践に直結していることを実感。弁護士の姿に将来の自分を重ね、今後も全力を尽くしていきたいです。

法学部法律学科 3年 (2021年12月時点)

藤田 愛永

(佐賀県・佐賀西高等学校出身)

私が思う
法学の面白さ
日常生活の出来事から
国際的な問題まで
幅広く活用される知識の修得

